

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	9	1	3	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	鈴木信彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	消防の任務を遂行するため、必要不可欠となる知識を修得するため、計画的に職員研修を実施し、人材育成に取り組むこととする。 退職者の増加を勘案した、体制強化を継続的に進めていく必要がある。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。
②①に基づく取り組み結果	今後数年間における消防職員の退職者増加を勘案しつつ、研修派遣者を選考し、人材育成に取り組めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防吏員	意図(対象をどうするのか)	複雑多様化する消防業務に対応するため、高度な専門的知識や技術を取得する。
②事務事業の概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害件数の増加、複雑多様化する災害への対応や高度な救急処置が要求され、専門的な知識、技術を持つ職員の養成により安心して暮らせる消防体制が望まれている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	消防職員37人を研修派遣し、知識と技能の向上を図った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	派遣計画者数/派遣者数	94	100	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算
事業費(千円)	3,615	6,492	金額(千円)	内容		4,410
	国支出金(千円)		4,811	消防学校等負担金		
	県支出金(千円)		1,253	技能講習等負担金		
	市債その他(千円)					
	一般財源(千円)	3,615	6,492			4,410

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の修得が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初	0	H26からの繰越	0	
		H26⇒27繰越	0			
③達成状況		補正	0	現年分	0	
		流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由	平成27年度への繰越額(単位:千円)		0			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防車両更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	鈴木信彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ確かな活動が出来る車両を更新整備する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
②①に基づく取り組み結果	検討会を開催し、現場の意見を取り入れながら、本市に適した車両及び資機材を決定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防本部及び消防署の管理する車両	意図(対象をどうするのか)	車両更新計画に基づき、車両を更新する。
②事務事業の概要	消防活動を維持するために必要な、消防車両及び車両積載品を更新整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	複雑多様化する災害が増えていることから、安全に暮らせる社会システムへの要望が高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	救急車及び薬剤搬送車を購入した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	車両更新率	100	100	100	%	車両更新計画
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	36,022	73,465	金額(千円)	内容		47,248	
国支出金(千円)		15,749	39,621	備品購入費(2台)			
県支出金(千円)			31,860	手数料(梯子オーバーホール)		13,509	
市債その他(千円)	30,000	21,000	1,897	手数料(AVM移設)		29,600	
一般財源(千円)	6,022	36,716	58	公課費(重量税)		4,139	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民の安全安心のため消防車両等の更新は、継続していかなければならない。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	はしご車のオーバーホール、救急車及び薬剤搬送車の購入。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	はしご車をオーバーホールし、救急車及び薬剤搬送車を購入した。	78,049	78,049	当初	78,049	73,465	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		現年分	73,465
				補正	0			
③達成状況	完了			流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		平成27年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	くぬぎ山消防署建替事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	鈴木信彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	旧庁舎を解体し、外構工事を完成させる。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	旧庁舎の解体及び外構工事を終え、くぬぎ山消防署建替事業が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	くぬぎ山消防署	意図(対象をどうするのか)	くぬぎ山消防署の建替え
②事務事業の概要	耐震性能に優れた消防署に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害活動拠点となるくぬぎ山消防署を建替えることにより、震災等の災害時において確実な対応が可能となり、市民が望んでいる消防力の強化を図ることができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	旧庁舎の解体及び外構工事を実施し、くぬぎ山消防署建替事業を完了した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 事業進捗率	3	73	100	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	243,099	111,994	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			108,069	工事請負費		
県支出金(千円)	14,111		2,478	工事監理委託費		
市債その他(千円)	224,300	87,300	964	家屋事後調査委託費		
一般財源(千円)	4,688	24,694	166	工事用地借上料		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	建替工事が終了したため、今後は適正な維持・管理を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	旧くぬぎ山消防署の解体及び外構工事が完了したことにより、本事業が全て完了したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	旧庁舎を解体し、外構工事を完成させる。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	旧庁舎を解体し、外構工事が完了した。	113,288	143,502	当初	113,288	H26からの繰越	18,299	
				H26⇒27繰越	30,214			
③達成状況	完了			補正	0	111,994	現年分	93,695
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防本部庁舎建替事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	鈴木信彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	車庫棟及び外構工事を完成させる。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	倉庫棟及び外構工事を実施し、本事業を完了する。
②①に基づく取組み結果	車庫棟工事は完了したが、外構工事は、平成28年度内の工事完了に計画変更した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防本部庁舎	意図(対象をどうするのか)	消防本部庁舎の建替え
②事務事業の概要	耐震性能に優れた消防本部庁舎に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害対応の中核を担う消防本部庁舎の建替えを行うことにより、震災等の災害時において確実な対応が可能となり、市民が望んでいる消防力の強化を図ることができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	平成28年2月末に車庫棟が完成した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 事業進捗率	14	77	89	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	603,366	108,940	金額(千円)	内容	37,430	
国支出金(千円)			106,690	工事請負費		
県支出金(千円)	14,937		2,132	工事監理委託等		
市債その他(千円)	547,400	96,000	118	駐車場用地借上	26,300	
一般財源(千円)	41,029	12,940			11,130	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	災害対応に支障を来すことなく、工事を進める必要がある。また、建替場所が住宅地に囲まれていることから、騒音や振動に対する近隣住民への配慮が必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	活動拠点である消防本部庁舎施設整備を早急に実施する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	車庫棟及び外構工事を完了する。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	車庫棟工事が完了した。	145,265	207,838	当初	136,747	H26からの繰越	56,026	
				H26⇒27繰越	56,026			
③達成状況	未完了			補正	15,065	108,940	現年分	52,914
				流用・充当	0			
④未完了・非着手の理由	外構工事は、工事計画の変更により、平成28年度完了とした。	平成28年度への繰越額(単位:千円)		94,601				